

だれかの笑顔のために

進路について考える

今、中学3年生の先輩たちは、高校入試にむけての勉強をがんばっています。もう1月から入試が始まっています。みなさんも、あと数年後には、同じように自分の進路実現のために行きたい高校を選んで、受験をすることだと思います。

しかし、小学生の今の段階では、「何のために勉強しなければいけないの?」という思いの方が強いかもしれません。そこで、少し「進路」(未来の自分)について考えてほしいと思うのです。

進路について考えるためには、下の3つの視点が大切だと考えています。まず、①自分を知ること。そして、②社会を知ること。最後に、③自分の生き方を考えることです。



進路を考える「3つの視点」

- ①自分を知る：自分の価値観、強み・弱み、好き嫌い、など自分自身のことを客観的に理解すること
- ②社会を知る：社会にはどのような職業があって、それがどのようにつながり合っているかなど、社会の仕組みを知ること、また、自分と社会とのつながりを理解すること
- ③生き方を考える：自分自身の価値観を理解し、「自分軸」で人生の優先順位を決め、「本当にやりたいこと」や「理想のあり方（ビジョン）」を見つけること

下の文章は、玉名荒尾地区のある高校の令和8年度（2026年度）熊本県立高等学校入学者選抜 前期（特色）選抜における「重視する観点」です。次の①～③のすべてを満たす生徒を入試で選ぶというものです。

本校への入学意思が明確な者で、次の①～③のすべてを満たす者。

- ① 基本的な生活習慣と基礎的な学力が身に付いており、本校の教育活動に積極的に取り組む意思がある者。
- ② 中学校で部活動や学校行事、生徒会活動やボランティア活動等に積極的に参加し、本校でも参加する意欲がある者。
- ③ 地域や国際社会の諸課題について高い関心があり、本校の教育活動をとおして、上級学校に進学できる学力や探究力、問題解決力や自己表現力を高め、社会に貢献したいという強い意欲がある者。

皆さんは、上の①～③のうち、どれくらい満たしていますか。

菊水小学校のみなさんは、毎朝ボランティア活動に取り組んでいますので、「ボランティア活動に積極的に参加し」については満たしていますね。では、他のことはどうでしょう？

現在の生活や学習、授業中の自分自身の様子を振り返ってみましょう。

努力して後悔した人を見たことがない

練習して下手になる人もいない

何かをして変わった人はいても

何もしないで変わった人はいない

